

エアコンのお手入れについて

すっかり暖かくなり、梅雨が近づいて来ました。冷房を動かし始める時期ですが、その前のエアコンのお手入れはしていますか？

エアコンの清掃は、夏に入る前の今が最大のチャンスです。エアコンの内部は汚れや埃が溜まりやすく、カビ等の微生物の温床になりやすい場所です。特にこれからの梅雨時期、冷房を稼働すると内部に結露が発生し、さらにカビの発生する勢が増します。この状態で稼働し続けると、カビ等による悪臭や、製品の汚染事故、まき散らされたカビがさらに周辺に汚染を広げることでカビを食べるチャタテムシやダニ等の虫の発生にも繋がります。その他にも溜ま

った汚れの落下による異物混入の可能性もあります。冷房をつける前に確認してみてください。

エアコンのメンテナンスとして手軽に行えるのは、フィルターの清掃と、その周辺やルーバーの拭き清掃です。フィルターに関しては、取り外して掃除機で埃を吸ったり、水洗いできれいにすることができます。これ以上の清掃に関しては、さらなる分解が必要で、専門の知識が無ければ故障の原因となります。また、エアコンには家庭用のものから業務用のもの、さらにその中でも様々な形態があり、これに合わせた清掃が必要なので、専門業者への依頼をおすすめします。



図1 エアコン分解



図2 清掃



図3 付着菌検査



図4 浮遊菌の採菌作業

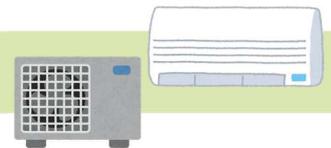
さらに、清掃後のチェック方法として、室内の空気中の菌や、設備・資材等に付着した菌を調べる環境クリーン度調査があります。清掃するだけでなく、その前後の微生物危害の評価もできます。調査方法によっては、清掃不具合箇所等の判断ができるので、清掃方法の見直しができます。

弊社でもエアコンの清掃、殺菌、環境クリーン度調査を承っております。お困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

今月の

豆知識

おうちでできるエアコン節電術



実はちょっとしたことでエアコンの電気代は節約できます。今回はそんなエアコンの節電術を紹介します。

①フィルターの清掃。

汚れや埃による目詰まりは、室温を調整する効率が悪くなります。環境省によると2週間に1回の清掃で、4～6%節電できるそうです。

②室外機の周りに物を置かない、直射日光を避ける。

室外機もフィルターと同様に、吐出し・吸込み口ともに塞がれると効率が悪くなります。日光で周囲を温められても効率が悪くなります。

③設定温度を見直す。

設定を1°C変えると、電気代は10～13%変動すると言われています。自動運転の設定にすると吉。

④短時間であればつけっぱなしにする。

短時間ならこまめに消すよりつけたままの方が吉。

⑤扇風機を併用し、部屋の空気を循環させる。

暖かい空気は上に溜まってしまうので、空気を循環させることで効率よく部屋の温度を調節できます。

そろそろ冷房をつけ始める時期です。エアコンの状態を見直してみたいはいかがでしょうか。